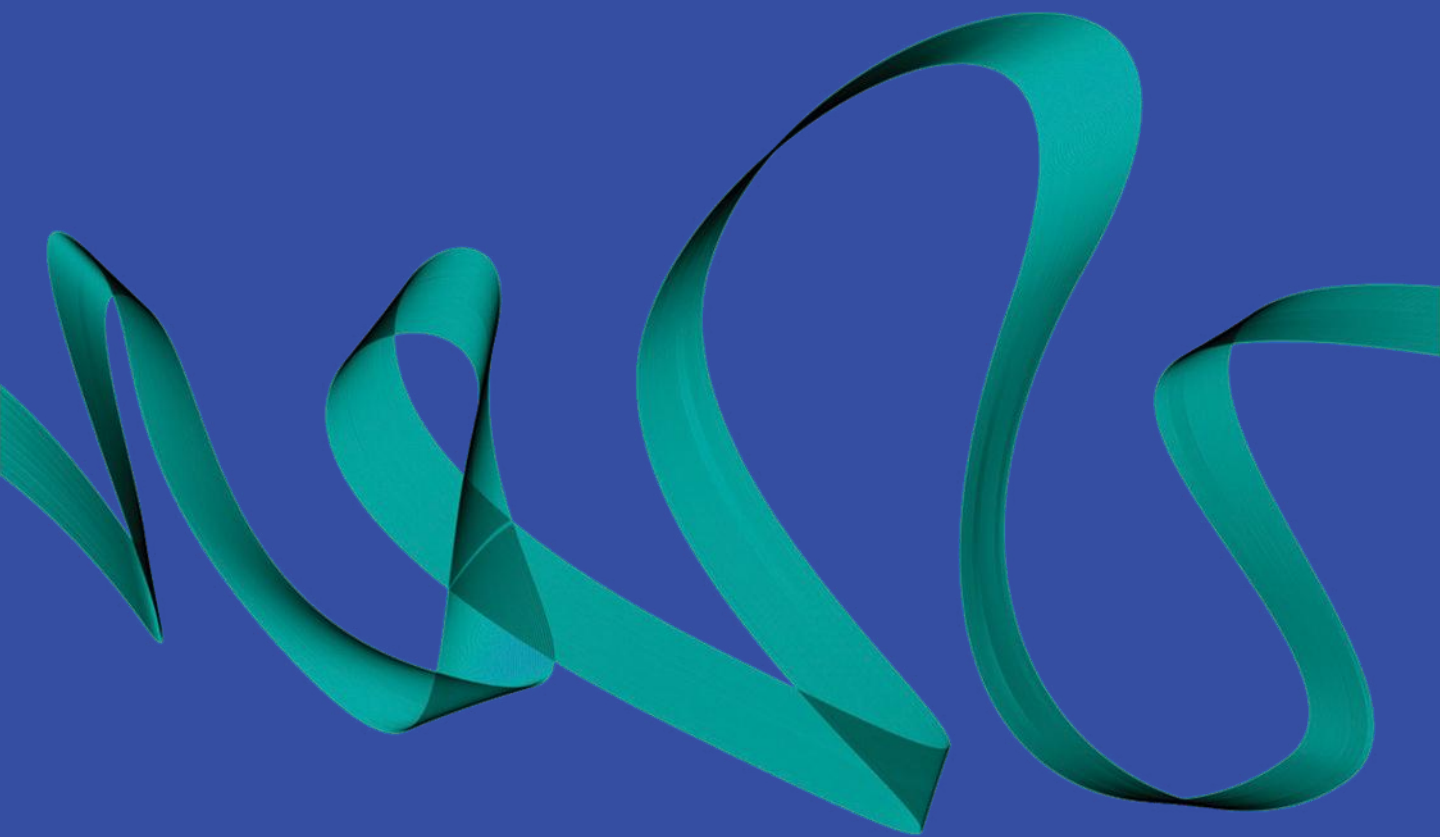




ミャンマーにおける 保健医療



イプソス・ビジネス・コンサルティング
構築・競争・成長

目次

| | |
|-----------------------|----|
| ミャンマーにおける保健医療と経済 | 3 |
| 保健医療にかかわるミャンマー政府機構 | 3 |
| ミャンマーにおける保健医療施設 | 4 |
| ミャンマーにおける地域別保健医療施設の立地 | 5 |
| ミャンマーにおける伝統医療制度 | 6 |
| ミャンマーにおける民間保健医療 | 6 |
| ミャンマーにおける食品医薬品規制 | 7 |
| ミャンマーにおける医療保険 | 7 |
| ミャンマーにおける好機のある分野 | 7 |
| ミャンマーにおける医療ツアー | 8 |
| ミャンマーの保健医療に関する分析 | 10 |
| 結論 | 10 |

お問い合わせ先



タイ・ミャンマー担当コンサルタント
チュウ・スワ・リン (Kyaw Swa Lynn)
myanmar.bc@ipsos.com

イプソス・ビジネス・コンサルティングによる保健医療調査とコンサルティング

イプソス・ビジネス・コンサルティングは事実に基づいた調査・コンサルティングを提供し、世界中の優良企業、政府関係機関から信頼を受けています。国内外の企業や政府関係機関が世界的に新興国や先進国市場でビジネスを構築し、競争し、成長する過程で、当社は事実に基づいた市場分析をご提供することによって、支援させて頂いております。

イプソス・ビジネス・コンサルティングは、1994年香港に最初のオフィスを開業して以来、特にアジアを中心とした独自の歴史と経験を誇りとしています。当社はこの何年にもわたり着実にアジア太平洋地域から欧米へと事業を拡大し、最近ではアフリカで初のオフィスを開業しました。当社は、アジア太平洋地域における市場情報提供会社からスタートし、今では世界85カ国に拠点を置くグローバルなイプソス・ネットワークの統一的部門として活動しています。また、当社の保健医療分野における事業は1990年代にさかのぼり、アジア太平洋地域全域に展開する保健医療産業に対し、調査やコンサルティング・サービスを提供する有力な企業として設立されました。現在当社のサービスは、医療技術、薬学、生命科学、医療と健康サービスの分野を網羅しています。

イプソス・ビジネス・コンサルティングは、保健医療分野市場における現状に基づいた実践的アドバイスを提供することにより、保健医療産業でビジネスをおこなう企業の皆様への支援を続けています。当社は自動車市場で20年以上の経験を有し、最適な地勢的優位性と、地域全体における確固たる経験をもって、皆様へのサービス提供をおこなっています。

詳細な情報をお知りになりたい方はこちらまでお問い合わせください。healthcare.bc@ipsos.com

2013年11月

本文書に含まれる情報は一般的な情報であり、いかなる個人や実在の事項を言及するものではありません。正確かつ時宜を得た情報提供に努力していますが、このような情報を受けた時点で正確であること、また将来にわたり正確であることを保証するものではありません。このような情報を利用する際は、必ず専門家による特定の状況検証の後、適切なアドバイスを受けてください。

©2013年 イプソス 無断転載禁止 本資料にはイプソスの機密情報と独占情報が含まれます。当社に対して書面による事前の許可なく、公開、または複製することを禁じます。

www.ipsosconsulting.com

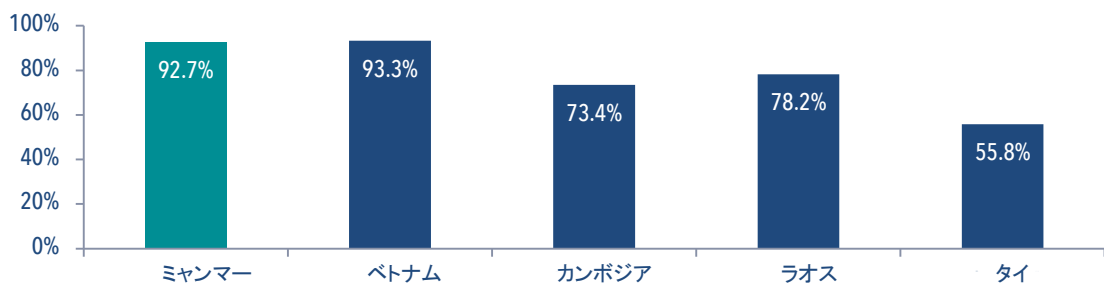
ミャンマーにおける保健医療と経済

保健医療産業は、ミャンマー経済の成長にともない大幅な改良が見られた分野の1つです。ミャンマー新政権は、保健医療への政府予算を増加させてきました。

しかしながら、保健医療に対する支出額は依然としてASEAN地域でも最低ランクであり、2012年の1.9%と比較しても、2013年は政府予算総額約4.5億ドルのうち3.9%に過ぎません。¹ ミャンマーの保健医療は外国資本にも開放され、現在認可されているクリニック及び病院の70%が外資となっています。²

ミャンマーの保健医療予算は、主に一般国民の自己負担医療費(00P)によって賄われています。2012年の世界銀行発表によると、自己負担による医療費は保健医療支出総額の92.7%を占めています。

図1: 保健医療支出全体における自己負担医療費の割合 (2012年)



出典: 世界銀行

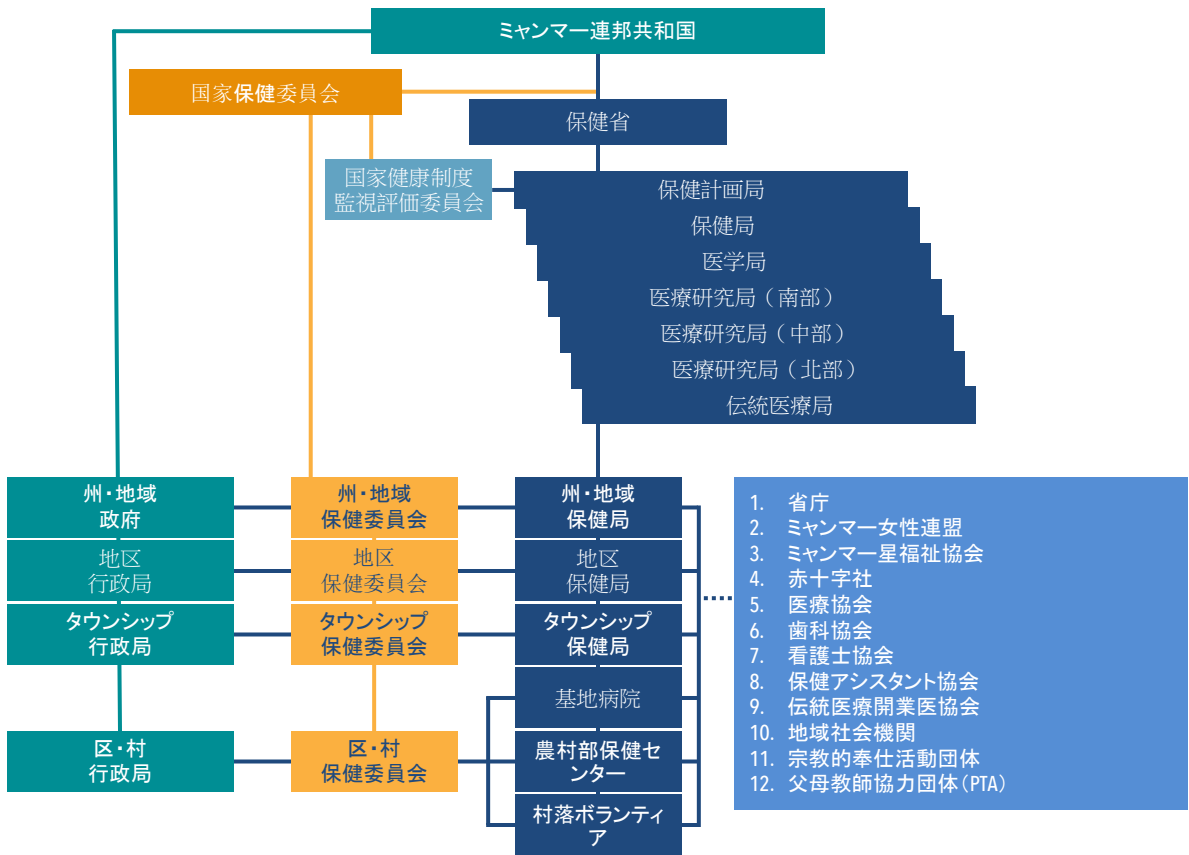
保健医療にかかわるミャンマー政府機構

保健医療サービスの提供を公式に管轄しているのは、ミャンマー保健省です。また官庁独自でも、公務員及び家族向けの病院や保健医療サービスを提供しています。国内で使われる医薬品を以前製造していたミャンマー製薬工場は、産業省の管轄です。

¹出典: ミャンマー投資

²出典: イレブンメディア 2013年8月

図2: 保健医療にかかわるミャンマー政府機構



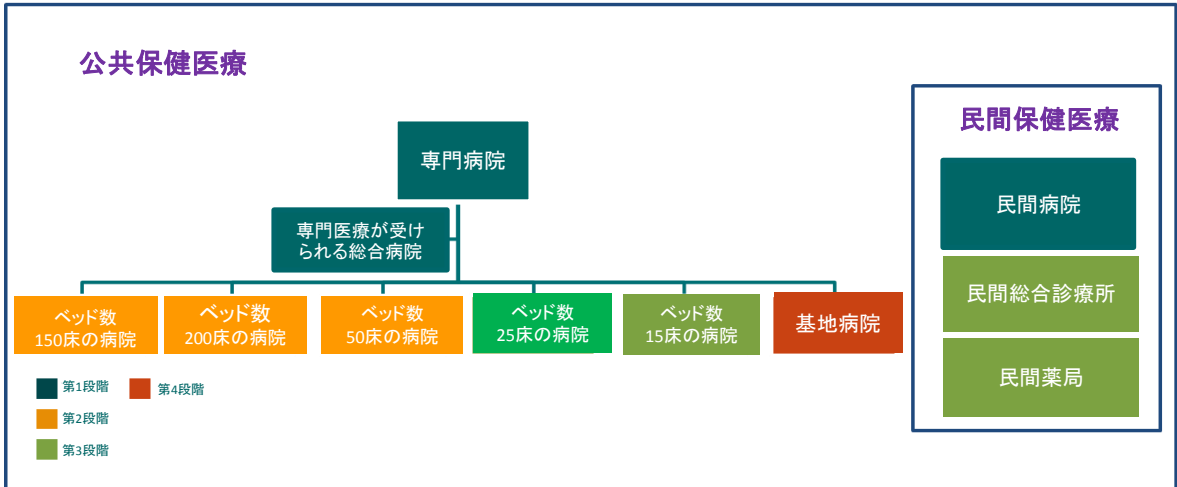
ミャンマーにおける医療保健施設

ミャンマーの主要な専門病院はヤンゴンとマンダレーにあります。この2都市の郊外にある保健医療施設は農村に住む人たちに基本的な保健医療サービスを提供していますが、規模は削減されています。

ミャンマー政府は民族を問わず公平な保健医療サービスを提供しています。しかし、カチン州、シャン州北部、カイン州東部やモン州南部のように内紛がある地域では、現在国家管理計画によって実行不可能のため保健医療サービスを受けられません。

ミャンマーでは、近代医学療法に加え、特定の治療法をもたない伝統的医学療法も、限られた地域で行われています。

図3:ミャンマーにおける保健医療分類



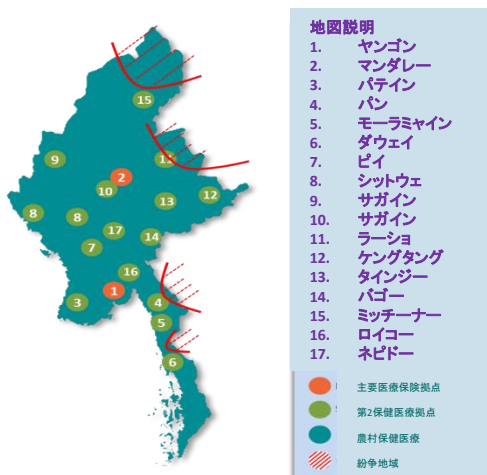
出典:保健省、イプソスによる分析

ミャンマーにおける地域別保健医療施設の立地

小児科や婦人科を含む主な専門病院は、ヤンゴンとマンダレーにあります。他の州や地域の中心都市である第2の都市には、その地域における専門病院が1または2箇所あります。

これらのタウンシップには、専門医療を受けられる一般病院があります。基地病院があるようなかなりの農村地域では、タウンシップの規模により病院の規模(ベッド)が決まります。患者のケアについては必要に応じて保健医療システムのフォローを受け、最も深刻な場合には主要な保健医療施設のあるヤンゴンに照会します。民間診療所や薬局は、主にミャンマーにおける外来治療サービスに活用されています。

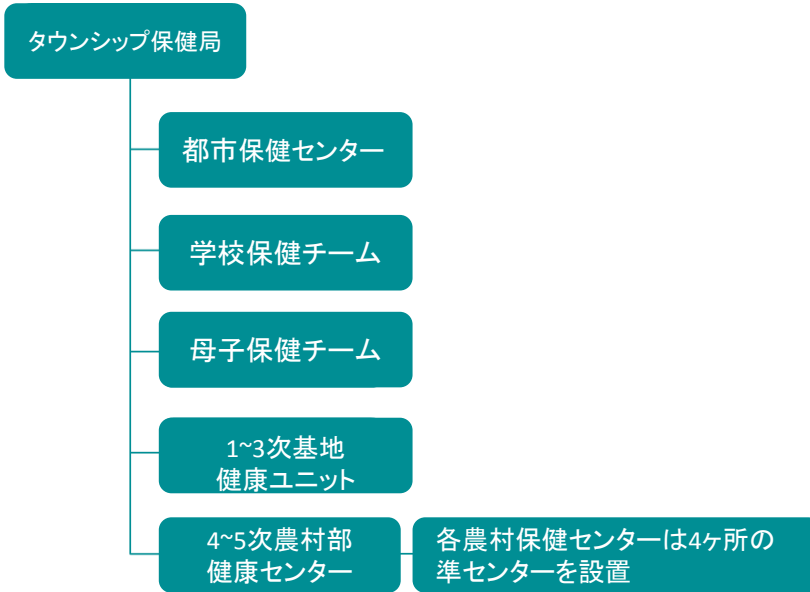
図4:ミャンマーにおける保健医療サービスの分布



出典:保健省とイプソスによる分析

「タウンシップ保健医療制度」は、1964年に保健医療教育計画の一部として導入され、保健医療促進および予防医療の両面から、現在ミャンマーにおける保健医療制度の中枢となっています。

図5: ミャンマーにおける保健医療サービス区分



出典: 保健省とイプソスによる分析

ミャンマーにおける伝統医療制度

ミャンマーの保険制度では、生薬等を使用する伝統療法が近代的治療と同様におこなわれており、ある意味驚嘆に値します。政府は、治療薬の効果を評価する科学的手法に対するサポートも行う一方で、有名で珍しい薬用植物の生育もおこなっています。また、研究論文や臨床結果の調査・保持・普及に対する支援もおこなっています。

ミャンマー政府が運営し、伝統医療をおこなう病院は全部で14箇所あります。医療従事者は、伝統医療専門学校で学ぶか、最近ではこの分野の最高峰として伝統医療大学が設立されました。

ミャンマーにおける民間保健医療

最近、速やかな治療を望む患者にとって、公的医療機関にかわり民間病院や専門クリニックの人气が高くなっています。利用者は、主に裕福な中産階級や上流階級の人々です。外来通院治療がメインですが、組織的医療も提供している施設もあり、ヤンゴンとマンダレーに集中しています。

一般的に、民間病院には公的医療機関よりも近代的な設備がそろっています。2007年に定められた民間保健医療サービスに関する法律、ミャンマー医師会の一般開業医に関連する法律条項に従って規制されています。

また、イスラム病院のように、地域コミュニティや信仰を原点とした組織による非営利病院もあります。外来通院治療がメインですが、組織的医療も提供している施設もあります。

小規模な民間総合診療所や薬局は、中産階級から下級階層の人々が軽い病気や怪我の治療としてまず訪れる施設です。これらはミャンマーにおける医療の最前線となっています。典型的にこれらの人々は主要な組織的な治療や外科手術のためしか病院に行きません。これらの総合診療所や薬局はミャンマー全土の医療の最前線です。

ミャンマーにおける食品医薬品規制

1995年に食品医薬品局(FDA)が設立され、国内で販売される食品、医薬品、医療機器、化粧品の安全性を監督しています。主な行政業務には、新製品の認可、既存製品の変更、研究実験の品質管理、医薬品の副作用、適正製造基準の精査、製造業者・卸業者の認定、施行業務、医薬品販売促進や広報活動などがあります。

FDAは税関や貿易局、警察と協力し、ミャンマーに輸入される医薬品が確実に登録済みのものであることを検査しています。また、国内で製造された食品、および輸入食品・輸出食品について健康食品としての推奨証明を発行しています。

ミャンマーにおける医療保険

この国が新たに自由化される以前、保健会社は国営の「ミャンマー保険」1社しかありませんでした。

ミャンマー投資に関する法律が新たに自由化されたことにもない、12社の外資系保険会社がミャンマー政府により保険商品販売許可を得て、2013年半ばまでに営業を開始する予定です。損保ジャパン、三井住友海上、東京海上日動、太陽生命などの日系企業もこれに含まれます。

2013年3月、大手保険会社のアメリカンインターナショナル(AIA)がミャンマーでの業務認可を与えられたと発表しました。同社の最高経営責任者マーク・タッカー氏は、ロイター社に対し「ミャンマー市場は明らかにかつての魅力を取り戻しつつある」と述べました。

ミャンマーにおける好機のある分野

ミャンマー政府は、保健医療のさらなる改善をめざし、多くの投資保険会社の保健医療制度への参入を歓迎しています。

| | |
|-----------|--|
| 保健医療機器 | ミャンマーでは以前経済制裁を受けていたため、近代的医療機器の入手ができず、今も不足しています。欧米からの制裁解除をうけ、ゼネラル・エレクトリック(GE)などの企業が積極的にに関わり、国立及び民間病院に画像診断装置を提供しています。 ³ |
| 保健医療及び医薬品 | ミャンマーの医薬品産業において、2013年で約1~1.2億ドルの価値を生み出すと予測されています。 ⁴ インドの製薬会社が35-40%を占め、バングラディッシュ、中国、タイ、インドネシア、パキスタン、ベトナムがそれに続いています。今後は欧米からの制裁解除をうけて、多くの欧米系メーカーが市場参入をおこなうでしょう。ミャンマーの製薬販売の60%は、ヤンゴンとマンダレーが占めています。商業省によると、毎年5,000種類以上の医薬品が輸入されています。 ⁵ 昔は認められていなかった製品が認可を受けたこともあり、製薬業にとっては絶好のチャンスと言えます。 |
| 保健医療サービス | 現在ミャンマーでは、以前はなかったような外国製の保健医療施設が整備されてきていますが、まだタイのような近隣諸国には大きく遅れをとっています。 |
| 保健医療教育 | ミャンマーの保健医療は、地域における保健医療専門家の質とサービスの向上にかかっています。政府は、最新治療に精通した優秀な保健医療専門家を育成する必要性を理解しています。GEなどの企業による訓練プログラムが、すでにミャンマー国内で始まっています。 |

ミャンマーにおける医療ツアー

ミャンマーでは質の高い保健医療サービスを受けにくいという現状もあり、多くのミャンマー市民や外国人が、治療を受けるためにタイ、マレーシア、インド、シンガポールといった近隣諸国へ渡航します。特にタイは地理的にも近く、文化的にも似ていて物価も安いので、ミャンマーの人々が好んで利用しています。

タイの有名病院チェーンの2010年度報告によると、ミャンマーがアラブ首長国連邦とカタールに次いで3番目に大きな市場になりました。⁶ マレーシアでも、治療を望むミャンマー人の患者数が2012年は前年度より23%増加しました。⁷ この数字は外国医療保険サービスを望むミャンマー人が増加する傾向の兆候に過ぎません。

通常国外で治療を受ける分野としては、主に健康診断、心臓治療、整形外科、小児科、神経科、ガン治療があります。ミャンマーでは多くの人が国外での診察・治療に関心を持っているものの、それには情報を得るのが難しく、言葉の壁も大きいのが現状です。

³ 出典：2012年GE年次報告書

⁴ 出典：Medical Myanmar 2013

⁵ 出典：Medical Myanmar

⁶ 出典：ミャンマータイムズ(2010年7月)

⁷ 出典：メディカルSEA(2013年6月)

こうした不安を解消するため、外国の病院の多くは地元の提携先病院と共に代表事務所を開設しました。一般的には以下のようなサービスをおこなっています。

- 外科手術のための国外から医師派遣（例えば、プンハリン病院とタイのバムルンラード病院の間で合意がなされた）
- 国外病院の予約手配
- ビザ申請書支援の書類発行やビザ申請代行
- 往復航空券の割引購入 例：バンコク病院とバンコク航空（バンコクで入院した場合は航空券の払い戻しができる）
- 外国から訪れた医師による無料相談
- バンコクまでの救急飛行サービス
- 健康研究所によるバンコクでのデータ分析サービス（血液、血漿、尿、細胞や組織の生検）
- 空港送迎と宿泊先手配
- ミャンマー語通訳

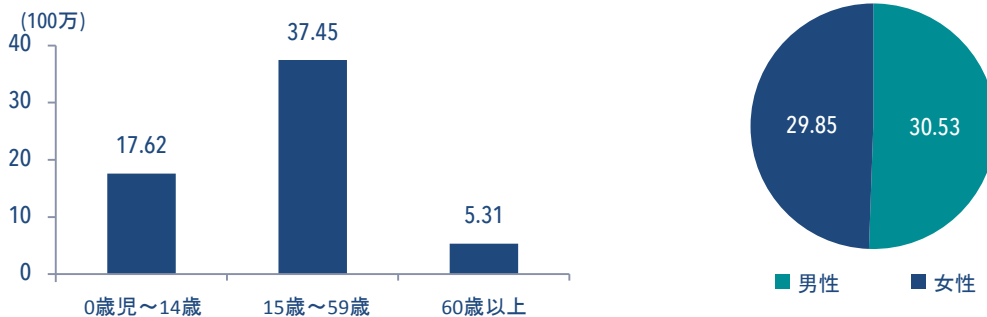
ミャンマーにおける国外の提携先病院は以下の通りで、ほとんどは隣国のタイです。

- タイ バンコク病院
- タイ ウェッタニー病院
- タイ バムルンラード病院
- タイ チャオプラヤ病院
- タイ ラマ9世病院
- タイ ヤンヒー病院
- タイ ウィバワディ病院
- タイ サミティベート病院
- インド アムリ病院
- インド アポロ病院
- マレーシア マコラ病院
- シンガポール シンガポール総合病院
- シンガポール パークウェイ病院
- シンガポール ラッフルズ病院
- シンガポール タントックセン病院

ミャンマーの保健医療サービス及び医療従事者の専門性が国際水準に達するまでは、こうした医療ツアーは当分続いていくでしょう。

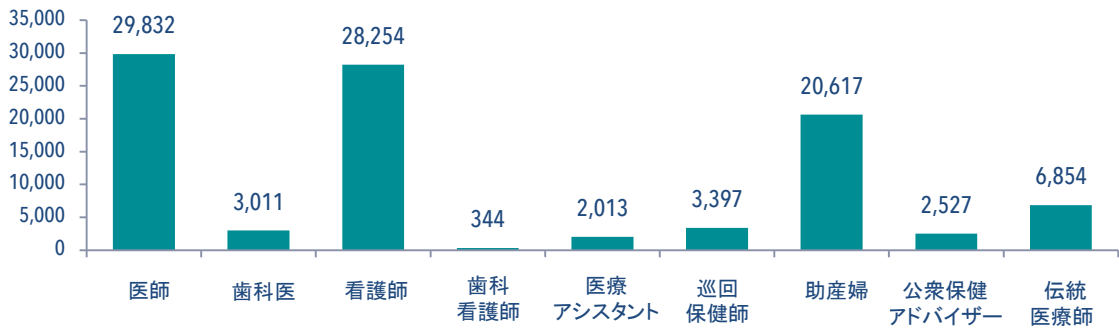
ミャンマーの保健医療に関する分析

図6: ミャンマーの人口予想(単位: 100万人)



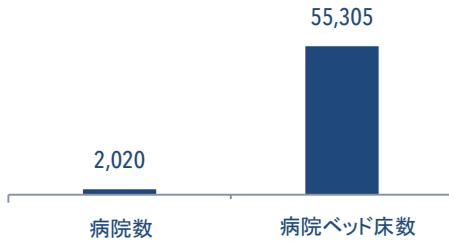
出典: 2013年ミャンマーの保健 保健省

図7:ミャンマーにおける保健医療サービスの従事者数(2013年)



出典: 2013年ミャンマーの保健 保健省

図8:ミャンマー政府の保健医療施設(2013年)



出典: 2013年ミャンマーの保健 保健省

結論

現状ミャンマーの保健医療制度ではほとんど個人が自己負担で支払っているため、サービスと商品の需要は、ミャンマーの経済発展及び国民1人当たりの収入増によるところが大きいです。ミャンマーの経済発展が続けば、質の高い保健医療の需要は間違いなく増加していくでしょう。

最寄りのイプソス連絡先

オーストラリア

パース

Ground Floor, 338 Barker Road
Subiaco, WA, 6008
Australia
australia.bc@ipsos.com
Telephone 61 (8) 9321 5415

シドニー

Level 13, 168 Walker Street
North Sydney 2060
NSW, Australia
australia.bc@ipsos.com
Telephone 61 (2) 9900 5100

中国

北京

12th Floor, Union Plaza
No. 20 Chao Wai Avenue
Chaoyang District, 100020
Beijing, China
china.bc@ipsos.com
Telephone 86 (10) 5219 8899

上海

31/F Westgate Mall
1038 West Nanjing Road 200041
Shanghai, China
china.bc@ipsos.com
Telephone 86 (21) 2231 9988

香港

22/F Leighton Centre
No 77 Leighton Road
Causeway Bay
Hong Kong
hongkong.bc@ipsos.com
Telephone 852 3766 2288

インド

ムンバイ

5th, 6th and 7th Floor, Boston House
Suren Road, Andheri (East) 400-093
Mumbai, India
india.bc@ipsos.com
Telephone 91 (22) 6620 8000

ニューデリー

C-1 First Floor
Green Park Extension
110 016
New Delhi, India
india.bc@ipsos.com
Telephone 91 (11) 4618 3000

インドネシア

Graha Arda, 3rd Floor
Jl. H.R. Rasuna Said Kav B-6, 12910
Kuningan
Jakarta, Indonesia
indonesia.bc@ipsos.com
Telephone 62 (21) 527 7701

日本

Hulic Kamiyacho Building
4-3-13, Toranomon
Minato-ku, 105-0001
Tokyo, Japan
japan.bc@ipsos.com
Telephone 81 (3) 6867 8001

ケニア

Acorn House
97 James Gichuru Road, Lavington
P.O. Box 68230
00200 City Square
Nairobi, Kenya
kenya.bc@ipsos.com
Telephone 254 (20) 386 2721-33

マレーシア

18th Floor, Menara IGB
No. 2 The Boulevard
Mid Valley City
Lingkaran Syed Putra, 59200
Kuala Lumpur, Malaysia
malaysia.bc@ipsos.com
Telephone 6 (03) 2282 2244

フィリピン

1401-B, One Corporate Centre
Julia Vargas cor. Meralco Ave
Ortigas Center, Pasig City, 1605
Metro Manila, Philippines
philippines.bc@ipsos.com
Telephone 63 (2) 633 3997

シンガポール

11 Lorong 3 Toa Payoh
Block B #03-26/27/28
Jackson Square, S319579
Singapore
singapore.bc@ipsos.com
Telephone 65 6333 1511

韓国

12th Floor, Korea Economic
Daily Building, 463 Cheongpa-Ro
Jung-Gu 100-791
Seoul, South Korea
korea.bc@ipsos.com
Telephone 82 (2) 6464 5100

タイ

21st and 22nd Floor, Asia Centre Building
173 Sathorn Road South
Khwaeng Tungmahamek
Khet Sathorn 10120
Bangkok, Thailand
thailand.bc@ipsos.com
Telephone 66 (2) 697 0100

トルコ

Centrum Is Merkezi Aydinievler No:3
34854 Kuçukyali 3
Istanbul, Turkey
turkey.bc@ipsos.com
Telephone 90 (216) 587 1111

アラブ首長国連邦

4th Floor, Office No 403
Al Thuraya Tower 1
P.O. Box 500611
Dubai Media City, UAE
uae.bc@ipsos.com
Telephone 971 (4) 4408 980

イギリス

Minerva House
5 Montague Close
SE1 9AY
London, United Kingdom
uk.bc@ipsos.com
Telephone 44 (20) 3059 5000

アメリカ

31 Milk Street
Suite 1100
Boston, MA 02109
United States of America
us.bc@ipsos.com
Telephone 1 (617) 526 0000

ベトナム

Level 9A, Nam A Bank Tower
201-203 CMT8 Street, Ward 4
District 3
HCMC, Vietnam
vietnam.bc@ipsos.com
Telephone 84 (8) 3832 982